



# クイックインストールガイド

EWS5204

無線 LAN コントローラ

## 著作権表示

本書は、米国著作権法およびその他の法律で保護されており、Edgecore Networks Corporationに帰属します。お客様は、Edgecore Networks Corporationからの書面による事前の許可なく、いかなる形式または方法によっても、本書のいかなる部分もコピー、複製、配布、公開、表示、実行、または変更することはできません。お客様は、コンテンツのコピーから著作権またはその他の通知を変更または削除することはできません。その他すべてのブランド名および製品名は、各社および各組織の商標または登録商標です。

無断複写・転載厳禁

## 注意事項

- 本ドキュメントはEdgecore社が発行した英文ドキュメントを和訳したものです。和訳内容に不明事項がある場合は、英文原文での確認をお願いします。
- 安全性と規則に関する情報については、コントローラに付属の『安全と規制について』を参照してください。

---

## 序文

---

この『クイックインストールガイド』では、EWS5204 のインストール方法と、基本構成でネットワークを起動して実行する方法について説明します。

---

## パッケージの内容

---

1. EWS5204 × 1
2. クイックインストールガイド(QIG) × 1
3. コンソールケーブル × 1
4. 電源コード × 1
5. ラックマウントキット(ブラケット × 2、ネジ × 16)
6. 粘着フットパッド × 4

最高のパフォーマンスを保証するために、他のサプライヤの部品を使わず、パッケージ内のすべてのサプライ品を使用することを強くお勧めします。

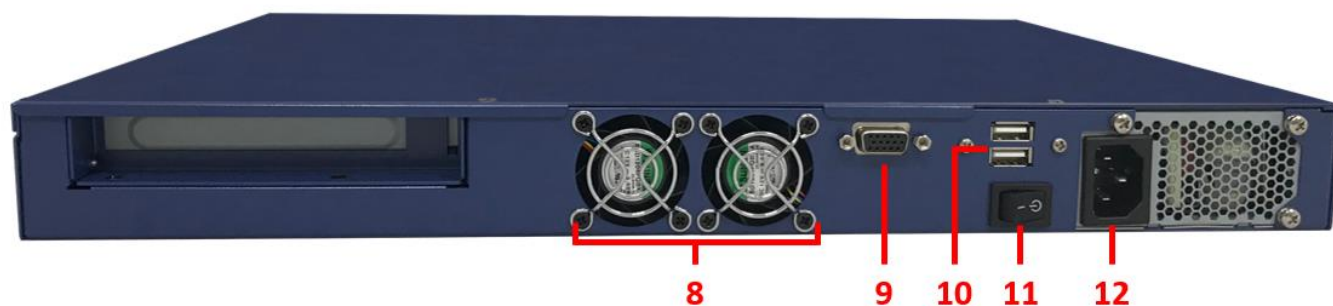
## システムの概要

### 前面パネル



1. **液晶パネル:** 管理者は、ナビゲーションボタン(ESC、UP、DOWN、ENTER)を使って、ネットワークインタフェースなどのシステム情報を見ることができます。
2. **LED インジケータ:**
  - **Power:** 電源投入時に点灯します。
  - **HDD:** ハードドライブアクティビティライト。
3. **Restart:** システムを再起動するには、ボタンを 5 秒間押し続け、ボタンを放します。
4. **Console:** コントローラのコンソールインタフェースに接続するためのポート(USB Type-C および RJ45)。Microsoft のハイパーターミナルなどのターミナルエミュレーションプログラムを使用して、構成コンソールにアクセスします。
5. **USB3.0:** USB ポートは将来の使用のために準備されています。
6. **RJ45 ポート:**
  - **WAN1、WAN2:** アップリンクイーサネット接続用の RJ45 ポート(10/100/1000Base-T)。これは、xDSL モデム/ルータなどのアップリンクデバイスにすべてのトラフィックを渡すことができるデフォルトポートです。
  - **LAN1-LAN6:** ダウンリンクイーサネット接続用の RJ45 ポート(10/100/1000Base-T)。スイッチ、AP、クライアント PC などのダウンリンクデバイスは、ここに接続できます。
7. **SFP ポート:** Small Form-factor Pluggable(SFP)トランシーバモジュールを挿入するポート。
  - **WAN1、WAN2:** 光ファイバーケーブルを介したアップリンク接続用です。
  - **LAN1、LAN2:** 光ファイバーケーブルを介したダウンリンク接続用です。

## 背面パネル



8. **装置冷却ファン:** 冷却ファンをふさがないでください。また、通気のために十分な空きスペースを確保してください。
9. **VGA コネクタ:** 必要に応じて VGA モニターに接続します。
10. **USB ポート:** 将来の使用のために準備されています。
11. **電源スイッチ:** 装置の電源をオン/オフします。
12. **電源ソケット:** 電源コードを内蔵電源に接続します。

## ハードウェアの取り付け

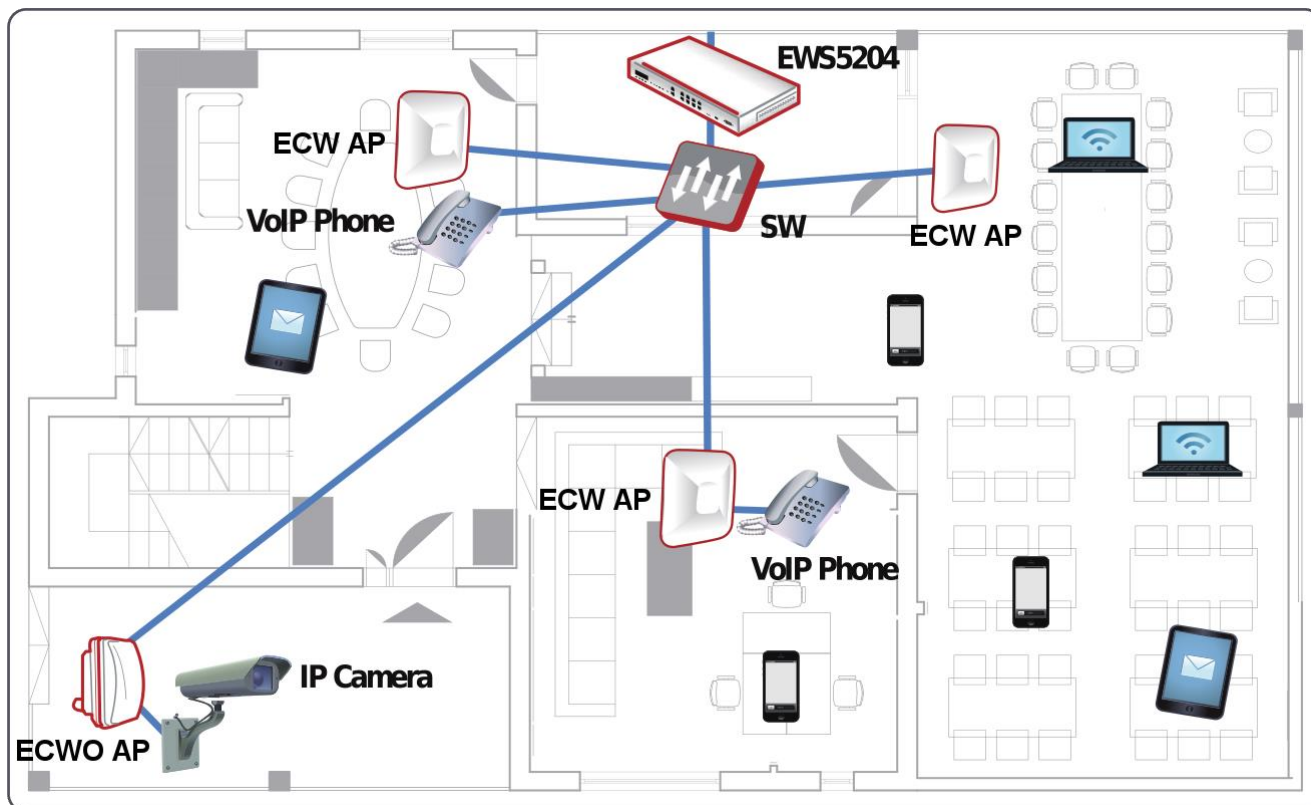
以下の手順に従って EWS5204 をインストールしてください。

1. 電源コードを背面パネルの電源ソケットに接続します。電源 LED が点灯し、正しく接続されていることを示します。
2. 内蔵ネットワークのスイッチ/ルータを、イーサネットケーブルで前面パネルの WAN1 ポートに接続します。WAN1 LED が点灯し、正しく接続されていることを示します。
3. 管理用パソコンとフロントパネルの任意の LAN ポートをイーサネットで接続します。この LAN ポートの LED は、正しく接続されていることを示しています。

## はじめに

### <システムの概要>

EWS5204 は、ユーザ管理、AP 管理、および他の管理機能をサポートするエンタープライズレベルの無線 LAN コントローラです。次のネットワーク図は、EWS5204 がこのサイトでユーザおよび無線アクセスポイントを集中管理できる配置例です。



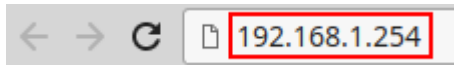
### <Web 管理インターフェース>

EWS5204 には、構成と管理のための Web ベースのインターフェースがあります。次の手順に従って、Web 管理インターフェース(WMI)にアクセスします。

1. 管理用パソコンと EWS5204 の LAN ポートをイーサネット接続します。PC には、EWS5204 と同じサブネット (192.168.1.0/255.255.0.0) の IP アドレスを割り当てる必要があります。



- Web ブラウザを起動し、アドレス欄にデフォルトサービスゾーンの IP アドレス(192.168.1.254)を入力します。



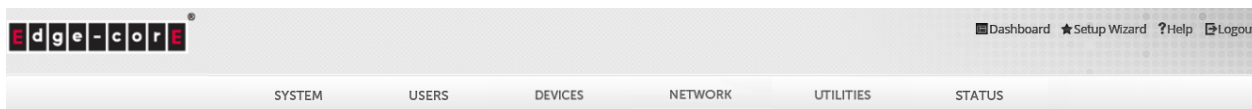
Administrator Login ページでデフォルトユーザ名(admin)とパスワード(admin)でログインします。

- ログインが成功すると、セキュリティ上の理由から、管理者にパスワードの変更を求めるプロンプトが表示されます。新しいパスワードの長さは 6 文字以上で、少なくとも 1 つのアルファベットと 1 つの数字が含まれている必要があります。






4. 新しいパスワードで正常にログインすると、Welcome to System Main Menu ページが表示されます。



## Welcome to System Main Menu

This Administrative Web Interface allows you to set various networking parameters, to customize network services, to manage user accounts and to monitor user status.

Functions are separated into the following main categories:  
[System](#) , [Users](#) , [Devices](#) , [Network](#) , [Utilities](#) , and [Status](#) .

For a quick overview of the system, please refer to the [Dashboard](#).  
 For shortcut links to the Dashboard, you may click the 4ipnet Logo on the top-left, or click the [Dashboard](#) icon on the top-right.

The [Star](#) icon on the top right is a [Setup Wizard](#) that provides a quick step-by-step guide on setting up your system.

For help with your system configuration, click the [?](#) icon for Online Help.



場合によっては、WAN 側から EWS5204 の WMI にアクセスする必要があります(EWS5204 の WAN IP アドレスを使用)。デフォルトでは、これはセキュリティ上の理由から許可されていません。この場合は、以下のスクリーンショットに示すように、管理 IP アドレスリスト(System>General>Management IP Address List)に移動し、最初のエントリ(0.0.0.0/0.0.0.0)で 'Active' をオンにします。

	SYSTEM	USERS	DEVICES	NETWORK	UTILITIES	STATUS
General	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		SZ6		172.26.0.254/255.255.0.0
WAN	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		SZ7		172.27.0.254/255.255.0.0
IPv6	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		SZ8		172.28.0.254/255.255.0.0
LAN Ports	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				
High Availability						
Service Zones						
Port Location Mapping						
PMS Interface						

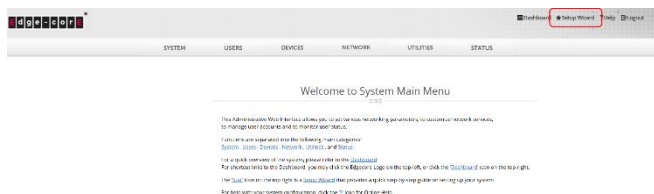
  

Management IP Address List		
No.	Active	IP Address/Segment
1	<input checked="" type="checkbox"/>	0.0.0.0/0.0.0.0
2	<input type="checkbox"/>	
3	<input type="checkbox"/>	

## 共通設定

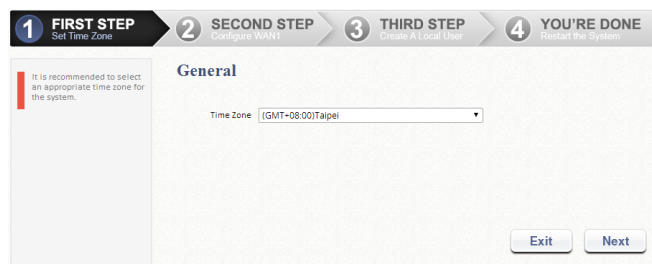
### <セットアップウィザード>

EWS5204 をすばやく設定するには、右上の Setup Wizard をクリックして設定を開始します。



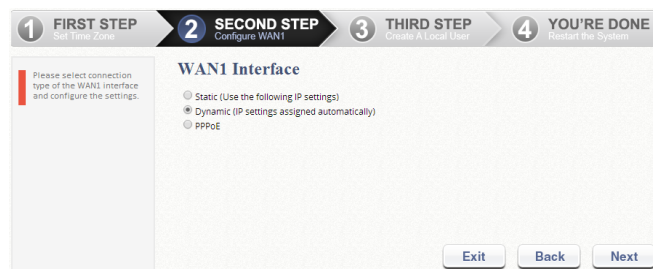
#### ステップ 1: 一般

- システム時刻を設定するタイムゾーンを選択します。
- Next をクリックして続行します。



#### ステップ 2: WAN1 インタフェース

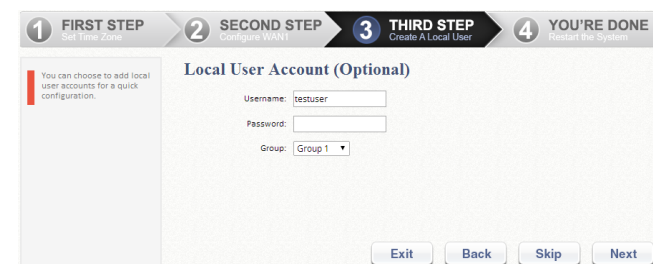
- WAN1 インタフェース: Static, Dynamic のアップリンクコネクションの種類を選択するか、PPPoE を選択します。
- Next をクリックして続行します。



#### ステップ 3: ローカルユーザアカウント(オプションステップ)

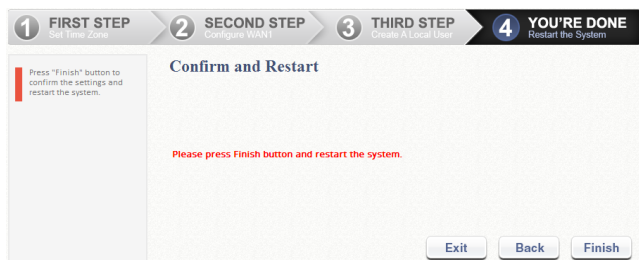
セットアップウィザードの完了時にシステムの準備状況を確認するために、ローカルデータベースに新しいローカルアカウントを作成できます。Skip をクリックすると、ステップ 4 に進みます。

- ユーザ名("testuser"など)とパスワード("testuser"など)を入力して、新しいローカルアカウントを作成します。
- Next をクリックして続行します。
- ステップ 4 で Back をクリックすると、ローカルアカウントを追加できます。

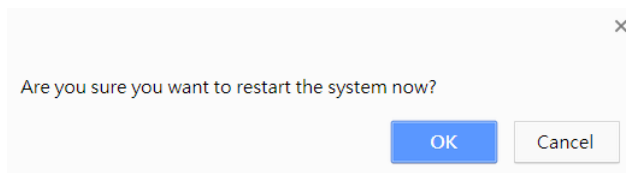


## ステップ 4: 確認と再起動

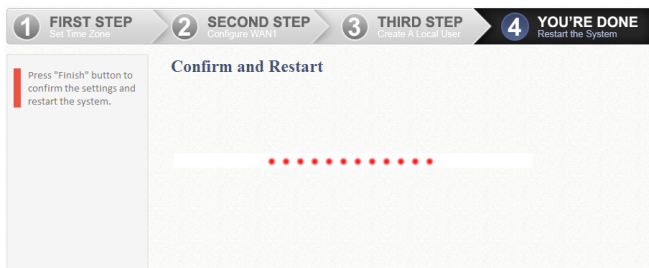
- Finish をクリックして現在の設定を保存し、システムを再起動します。



- 確認のダイアログボックスが表示されます。OK をクリックして続行します。



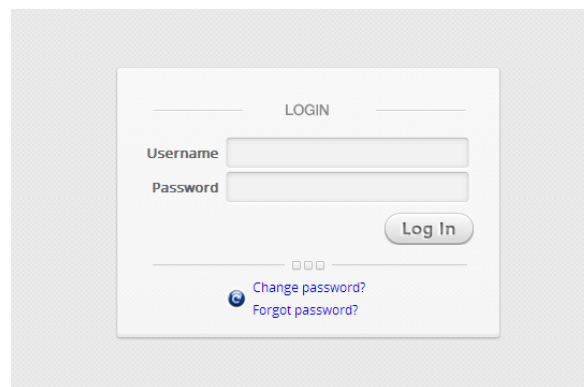
- 再起動中は「Confirm and Restart」メッセージが表示されます。Administrator Login ページが表示されるまで中断しないでください。



▶ **NOTE:**

この段階では、DNS サーバに接続しようとしています。そのため、設定された DNS が見つからない場合は、時間がかかることがあります。

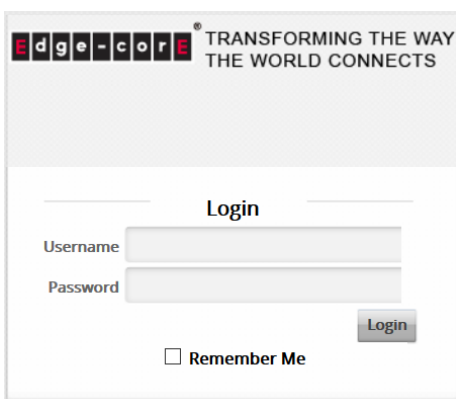
- 次の Administrator Login ページが表示されたら、再起動は完了です。



## <ユーザログイン>

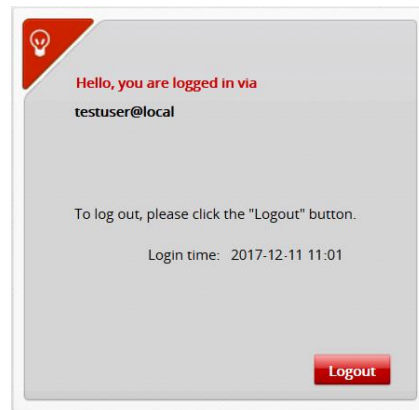
セットアップウィザードで完了した基本構成を確認するには、次の手順に従います。

1. ラップトップ PC を EWS5204 の任意の LAN ポートに接続します。PC は EWS5204 から自動的に IP アドレスを取得します。
2. Web ブラウザを起動し、Web サイトの URL を入力します。デフォルト User Login ページが表示されます。



3. セットアップウィザードで作成したローカルユーザアカウントのユーザ名とパスワード(例:ユーザ名: testuser、パスワード: testuser)を入力し、Login をクリックします。

ユーザが正常に認証されると、Login Success ページが表示されます。



これで、EWS5204 は、基本構成で稼働しています。

### ▶ NOTE:

1. EWS5204 では、内蔵のローカルユーザデータベースや外部認証サーバなどの複数認証サーバオプションがサポートされています。
2. 完全なユーザ名形式は userid@postfix で、"postfix"文字列はバックエンド認証サーバを表します。そのため、ユーザ名とバックエンド認証サーバ間の一致は、完全なユーザ名の "postfix"文字列に基づきます。
3. 通常、ユーザはログイン時に完全なユーザ名 (testuser@local など)を入力する必要があります。ただし、postfix がデフォルト認証サーバオプションと一致する場合は、postfix を省略できます。たとえば、ローカルデータベースデフォルト認証オプションとして有効になっているため、ログインするユーザ名として testuser を入力するだけで済みます。